



上/「虎図」(重要文化財) 無量寺蔵

雪 蘆 澤 長

— 没後200年記念 —

下/「花鳥蟲獸(かちょうちゅうじゅう)図巻」千葉市美術館蔵



平成12年 **4月4日(火) - 5月7日(日)**

前期と後期で全点を展示替えいたします

前期:4月4日(火) - 4月16日(日) 後期:4月19日(水) - 5月7日(日)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

千葉市中央区中央3-10-8 〒260-8733
JR千葉駅下車 徒歩15分
京成千葉中央駅下車 徒歩10分
問い合わせ 043-227-8600 (ハローダイヤル)

入場料 一般 1000 (800) 円
大・高生 700 (560) 円
中・小学生 300 (240) 円
()内は前売りまたは30名以上の団体料金

主催 千葉市美術館/日本経済新聞社
後援 文化庁

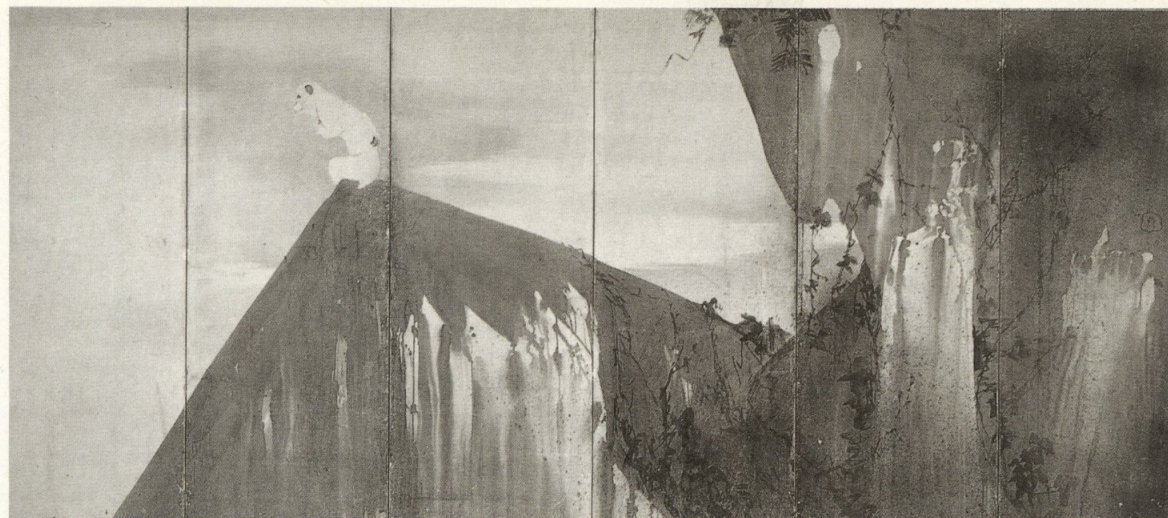
休館日 毎週月曜日
(4月10日・4月17日・4月24日・5月1日)
と4月18日(火) (展示替のため)

開館時間 午前10時~午後6時(入場は5時30分まで)
金曜日は午後8時まで(入場は7時30分まで)
ただし5月5日(金)は祝日のため、午後6時閉館

平成12年度春季特別展

ながさわ 蘆雪

— 没後200年記念 —



「白猿 水辺群猿図」(右隻) (重要文化財) 草堂寺蔵



「象と牛図」(左隻) プライス・コレクション



「松竹梅図」(梅) 千葉市美術館蔵



「幽霊図」 プライス・コレクション

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

千葉市中央区中央3-10-8 〒260-8733
問い合わせ 043-227-8600 (ハローダイヤル)

江戸時代中期の京都画壇は、新旧の画派が入り乱れ、百花繚乱というべき賑わいを見せていました。その中で機知に富んだ描写でひととき大輪の花を咲かせた、長澤蘆雪(宝暦4・1754～寛政11・1799)。本展は、奇想の画家の一人にも数えられる蘆雪の生涯にわたる画業を回顧し、紹介するものです。

蘆雪は、師・円山応挙ゆずりの優れた描写技術を基礎に、形式にとらわれない想像力あふれる画風を展開しました。自ら赴いて筆をとった南紀(現在の和歌山県)には今も多くの作品が残っています。

本展は、南紀で制作された代表作、新出の作品の他、在米のプライス・コレクションからの里帰り作品を含む約100点により構成されます。約60年ぶりの網羅的な回顧展となるに違いありません。

関連企画

講演会

4月22日(土)午後2時より

講師:京都市立博物館美術室長 狩野博幸氏
「蘆雪とその時代」

4月29日(土・祝)午後2時より

講師:多摩美術大学学長 辻惟雄氏
「画家蘆雪のウイット」

*両日とも千葉市美術館11階講堂にて
当日午後1時30分開場で先着順に入場
無料・申込不要

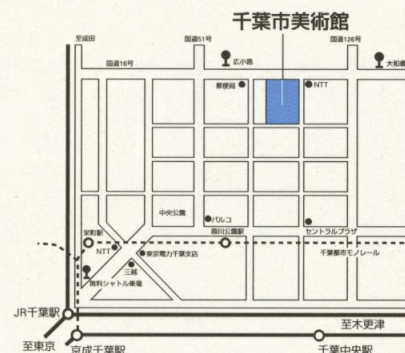
ギャラリートーク

4月8日(土)・4月15日(土)・5月6日(土)午後2時より

*8階展示室入り口に集合 申込不要

次回予告

「高松次郎展」(仮称)
5月16日(火)～7月9日(日)



【交通案内】

JR総武線千葉駅

東口より徒歩15分

京成バス大学病院・南矢作行(のりば⑦ 3つめのバス停
「大和橋」下車徒歩2分)

京成バス川戸行(のりば⑦ 2つめのバス停「広小路」
下車徒歩1分)

千葉都市モノレール 県庁前行
(「霞川公園」下車徒歩5分)

京成千葉中央駅東口より徒歩10分